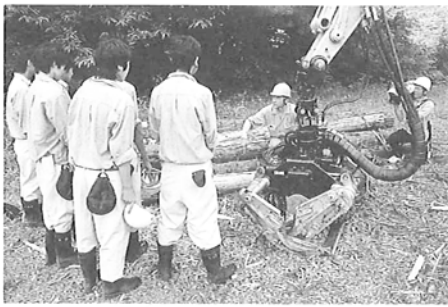


高性能林業機械 基本操作研修会が 開催されました

はじめに

平成22年7月29日に、岩手県林業技術センターで、岩手県内の林業関係学科で学ぶ高校生を対象として、高性能林業機械基本操作研修会が開催されました。

当日は盛岡農業高等学校17名、久慈東高等学校12名が来所しました。生徒たちは、森林、林業や高性能林業機械に関する室内講義を受けた後、敷地内の機械研修コースに移動して、機械の操作を体験しました。今回使用した機械は、プロセッサ、スキップダ、フォワーダの3種類です。プロ



講師の説明に集中する生徒達（プロセッサ）



操作はゲーム感覚？



アーティキュレート式の操舵に一苦労？



だいぶ慣れてきた！

セッサでは、丸太の移動、材送り、切断などの操作を行いました。スキップダは場内のコースで走行を体験しました。また、フォワーダでは、地面に置いてある丸太を掴み、一度荷台に載せてから再び降ろすなど、本格的な操作に取り組みました。講師は、機械メーカーの指導担当者や、林業技術センターの職員が務めました。

最初は、初めての機械操作に戸惑っていましたが、講師の指導を受けながら操作を続けるうちに慣れてきたようで、最後は皆が見事に乗りこなしていました。中には、「もう一度やりたい！」と再挑戦する生徒も。研修終了後には、「操作が楽しかった」「思ったより簡単だった」「機会があれば山で作業してみたい」と言った感想が寄せられました。講師からも、「若いせいか、機械に慣れ



そこを右、次は左… なかなか上手です

るのが早い。「素直に指導を受け入れるので、上達が早い」との評判が聞かれました。

今回の研修を通じて、少しでも多くの高校生が林業に興味を持ち、将来の林業を担ってくれることを期待します。参加された高校生の皆さん、お疲れさまでした！

林業技術センター普及班
019(698)1337

☆今月の表紙の写真☆

成松 真樹（盛岡市）

（タイトル）

「岩手の恵み ホンシメジ」

（コメント）

豊作の年、大量のホンシメジに遭遇して、思わずシャッターを押しました。

豊かな実りを与えてくれる岩手の自然を、これからも大切にしていきたいものです。

